

～市民と農業者をつなぐ
武蔵野市農業委員会だより～

むさし



第21号 令和5年11月

編集・発行 武蔵野市農業委員会

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

Tel 0422-60-1833 (直通)

Fax 0422-51-9408 (直通)

武蔵野市農業委員会 会長あいさつ

令和5年7月20日開催の武蔵野市農業委員会通常総会において、会長に選出されました。就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

私は、農業委員としては6期目、会長としては3期目となりました。昨年からは特定生産緑地制度が開始され、本市では90%を超える生産緑地が特定生産緑地に指定されました。都市部に近い本市では、相続等により農地面積が減少傾向にあるものの、引き続き貴重な農地を守っていこうという農業者の努力や決意を感じることができ、大変誇りに思います。

また、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた農産物品評会を3年ぶりに開催することができ、改めて多くの市民の方に本市農業のPRをできたと実感しております。

今期も関係機関と連携し、更なる農業振興に努めてまいりますので、ご支援の程よろしくお願いいたします。



武蔵野市農業委員会 会長
榎本 一宏

11月12日は農産物品評会へお越しください！



展示 9:00 開始 即売会 12:00 開始
出品農産物の展示・即売会
武蔵野市の農家さんが育て、品評会に出品した農産物を販売します。(売り切れ次第終了)

10:00 開始 なくなり次第終了
ジャガイモ詰め放題
袋に詰められるだけ詰めたジャガイモを定額で販売します。(袋はご用意します)

14:00 開始 なくなり次第終了
宝船の野菜を「宝分け」
宝船の作成に使った野菜を無料配布します。ご利益があるかも？

COOLAB 参加ブース
キッチンカーもやってくる
市内の異業種をつなぐ「コラボムサシ」の参加事業者がキッチンカーを出店します。

むさしのエコreゾート 武蔵野市緑町3-1-5
むさしのエコreゾート クリーンセンター
武蔵野市 三鷹駅 吉祥寺駅 市役所
主催：武蔵野市
共催：武蔵野市農業委員会
東京むさし農業協同組合武蔵野地区
事務局：武蔵野市市民部産業振興課農政係
電話 0422 (60) 1833

農産物品評会は、農業者の栽培技術の向上と市内産農産物のPRを目的に開催しています。

今年は11月12日(日)に市役所北側の『むさしのエコreゾート』で一般観覧を行います。当日は、秋に収穫される色とりどりの市内産農産物が並びます。

また、市内産農産物を使った商品の販売や出品された農産物の即売会、野菜の宝分けも行います。今年は例年より大きい宝船も登場する予定です。

たくさんの方のご来場をお待ちしています！

夏野菜品評会（7月4日開催）



▲左から受賞者の高橋嘉晴さん、高橋政孝さん、高橋宏明さん、坂本和人さん、後藤幸治さん

夏野菜品評会は、夏にしか収穫のできない農産物を対象に審査を行い、農業者の栽培技術の向上を図っています。

夏野菜は、毎年当日になるまで出品ができるかわからないという難しさがありますが、今年は14名から30点の出品がありました。

年々気温も上昇し、天候が読めない不安も農業者にはあり、更に今年は台風でトウモロコシが折れるという被害もありましたが、審査員からは、病害虫の発生が少なく、品質良好なものが多かったという評価をいただきました。

武蔵野市長賞	高橋 宏明 (境西部)	ナス
武蔵野市 農業委員会会長賞	高橋 政孝 (境西部)	キュウリ
東京むさし 農業協同組合長賞	高橋 嘉晴 (境西部)	エダマメ
武蔵野市議会 議長賞	坂本 和人 (関前)	トマト
武蔵野商工会議所 会頭賞	後藤 直久 (境西部)	トウモロコシ

(敬称略)

市内産夏野菜の即売会



市役所前はたくさんの人でいっぱい▶

市役所にて、6月27日、7月4日・11日に市内若手農業者による即売会が行われました。

当日は行列ができ、4,065点もの農産物が瞬間に完売しました。

「初日に買ったトウモロコシが甘くておいしかったので、また買いに来ました」という声も聞かれ、市内産農産物のリピーターになっていただきました。

11～12月にも市内産農産物の直売会を行う予定です、ぜひお越しください。

農業 New Face

竹内邦憲さんは、境南町の農業者。市役所勤務を経て、父の相続をきっかけに新規就農しました。

「都市農業の大切さを知ってもらい、農地を守っていききたい。市民の皆さまに生産緑地が次第に消えていることを知っていただきたい（“知”産地消）」という思いで、日々の作業に取り組んでいます。

就農して日は浅いですが、酷暑の中の水やりや草取り等の大変さを身に沁みて実感し、先輩農業者のこれまでの努力に対して敬服されていました。

現在、プルーン、みかん、ブルーベリー等の果物を生産しています。

特にプルーンは庭先販売で大人気。近所でも評判です。

気さくでユーモアのある邦憲さん、地域のホットステーションになりそうです。



▲栽培中のプルーン



農作物の鳥獣被害 ～生産者のつぶやき～



▲トウモロコシに近づくハクビシン



▲被害にあったトウモロコシ



▲ハクビシン又はアライグマの足跡

近年、武蔵野市でも都市部特有の有害鳥獣被害が発生していることを皆さんご存じですか？

よく耳にするのがハクビシン、最近ではタヌキ、アライグマといった動物による被害が増えています。

せっかく丹精込めて安全・安心で美味しい生産物を消費者に届けようとしたのに、収穫を目前に被害に遭うのは、生産者としてはやるせないものです。

国も地方行政も対策を講じているものの抜本的な解決は中々難しいものがあります。

それでも、消費者に新鮮な農産物をお届けできるよう武蔵野の農業者は日々頑張っています。

※画像は東京都中央農業改良普及センター提供

女性の活躍（ジャガイモの詰め放題）



J A東京むさし武蔵野地区女性部は、市内産農産物のPRや地産地消の推進を行っています。生産現場のパートナーとして活躍し、家族全体で市内農業を支えています。

7月29日には、吉祥寺北町の農家の畑で生産されたジャガイモをご提供いただき、「吉祥寺農 to 食のマルシェ」にて、詰め放題を行いました。

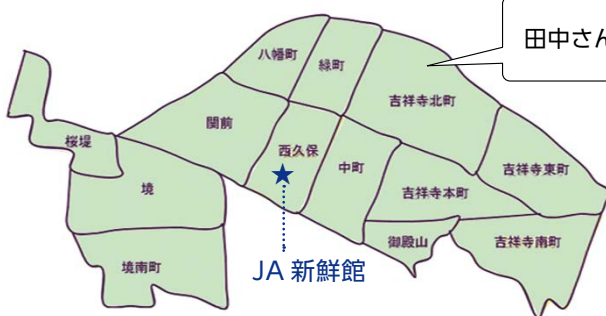
昨年の農産物品評会でも大人気だったこの詰め放題は、大好評のうちに終了しました。当日は、野菜の直売会や小松菜の作付け教室も開催されました。

「新鮮で安全・安心な野菜はすぐそばに」 生産者の笑顔



実(みのり)さん

武蔵野市内で活躍する農家の方々をご紹介します。



田中さん宅



豊(ゆたか)さん

田中 恒男さん (吉祥寺北町3丁目在住)



▲左から長男の博崇さん、愛犬のチムちゃん、恒男さん

田中さんは、相続をきっかけに平成17年に就農しました。武蔵野市特産のウドを始め、大根、里芋、枝豆、ジャガイモなどを主に学校給食に出荷し、その他にも新鮮館や庭先販売も行っています。

初めは試行錯誤の連続で、自然相手の難しさを実感し、野菜作りは子育てと同じで手が掛かるものと実感したそうです。

田中さんは、この「むさし農」の初代編集長。武蔵野市学校給食部会の立ち上げにも尽力されました。

3年くらい前から長男に農作業を任せ、おいしい野菜を求めて研究を怠らず、誇りをもってできる農業を目指してほしいと語っていました。

新農業委員紹介

任期：令和5年7月20日～令和8年7月19日



農業委員の任期満了に伴い、委員14名が新たに任命されました。

農業委員会では、法令業務・農地等の利用の最適化の推進、農業経営の合理化や法人化の推進、調査活動、情報提供活動をしておりしますので、お気軽にご相談ください。

前列左から北沢俊春（公募）、坂本和人（関前）、後藤幸治会長職務代理者（境西部）、榎本一宏会長（関前）、中村健二（JA）、★大谷壽子（公募）、★土屋美恵子（公募）
後列左から松本正人（吉祥寺）、★高橋栄治（吉祥寺）、榎本英明（西窪）、★下田誠一（境東部）、森田茂紀（公募）、★吉野憲二（境南部）、櫻井義則（関前） ※★は広報委員

編集後記

「むさし農」は、農業委員の改選にともない、3名の新メンバーを迎えることになりました。誌面をさらにいっそう充実したものにしようと編集員一同取材等に奔走しています。

武蔵野市の農業が市民のみなさんに開かれているものであり、身近な存在であることを願い、正確な情報を発信しつづけることを心がけてまいります。末長いご愛読をお願いします。

スマホで
検索

農業委員会
だよりは
こちら↓



直売所
マップは
こちら↓



食を育む。
むさしのは
こちら↓

